

# ハンドボール

スローオフチーム **愛知県**



日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 33

No. D(14)  
(16名用)

A	愛知県	広島県	B
合計	35	30	合計
	20 15	11 14	

野村広明

7m TC

玉村健次

大会名	第67回国民体育大会		
H24年	10月7日(日)	場所	桜ヶ丘体育館
種別	成年	男女	男
回戦	第	回戦	準決 決 リーグ

A	愛知県		警告	退場	失格	チームタイムアウト	
	前半	後半				前半	後半
役員A	野村広明					25	35
役員B	清水博之						
役員C	木松誠						
役員D	山本亮司						
1	甲斐昭人						
2	藤本祐季						
3	渡部仁						
4	岡田亮介						
5	高野海						
6	石戸孝一						
7	木切寛一						
8	藤田聖史						
9	武田圭						
10	岸川爽						
11	山城志						
12	久保侑生						
合計	2	3				20	15

B	広島県		警告	退場	失格	チームタイムアウト	
	前半	後半				前半	後半
役員A	玉村健次					19	05
役員B	戸田政弘						
役員C	城間晃						
役員D							
1	志水孝行						
2	成田幸平						
3	仁平昌利						
4	樋口睦						
5	今井昭仁						
6	中浦成崇						
7	谷村達夫						
8	木村雅俊						
9	新建二						
10	佐藤智仁						
11	古塚雅文						
12	松村昌幸						
合計	3	1				11	19

A	前半		B	後半	
	得点	時間		得点	時間
5	1	0:23			
5	2	1:56			
3	3	2:47			
6	4	3:51			
2	5	6:14			
3	6	6:55			
6 W	7	7:41			
3	7	9:06			
	8	10:22			
	9	10:57			
	10	12:14			
2	8	12:44			
4	9	13:34			
8 W	14	14:11			
2	10	15:19			
6	11	15:55			
2	12	18:49			
	19	05			
3	19	46			
3	19	59			
2	20	13			
2	20	21			
2	14	22			
4	15	23			
3	16	24			
6	17	26			
2	18	27			
7	19	28			
2	20	29			
	24	46			

特記事項

20 - 11 35 - 30

タイムキーパー 村上 隆太  
スコアラー 伊藤 好輝  
マッパ 佐藤 弘幸  
サイン 佐藤 弘幸  
審判員 サイ 佐藤 弘幸  
審判員 サイン 佐藤 弘幸

① (主催者用)

日本ハンドボール協会版-不許複製

# ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

## 結果報告

No. 32

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月7日 (日)	試合記号	D⑭	回戦	準決勝
種別	成年男子	会場	飛騨市桜ヶ丘体育館		
A (都道府県名)			B (都道府県名)		
愛知県			広島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
35	20	前半	11	30	
	15	後半	19		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

### 【 戦 評 】

記載者氏名

鷲見浩章

序盤、流れをものにしたのは愛知県。5番高智の力強いシュートで先制すると、開始5分まで4対2と主導権を握る。9分過ぎ、広島県は11番古家のカットインからのシュートが決まると9番新の連続速攻が決まり追い上げる。そして、4番樋口が7mスローを決め、4連続得点で同点に追いついた。しかし、その後は愛知県の一方的な展開。多彩な攻撃で広島県のディフェンスに的を絞らせない。そして、2番藤本がサイドシュート、ミドルシュート、速攻を決め活躍をみせる。一方、広島県は愛知県の組織的なディフェンスをなかなか崩すことができない。5番今井、7番谷村がミドルシュートを放つも愛知県ゴールキーパー甲斐にゴールを阻まれる。流れを引き寄せたい広島県であったが、愛知県の流れは変わらず、20対11で前半を折り返す。

後半、先に流れをつかんだのは広島県。9番新のサイドシュートと速攻で追い上げる。その後は点を取っては取られのシュートの打ち合いとなる。15分過ぎ、愛知県は2人の退場者を出すと流れは広島県に大きく傾き、連続得点で追い上げを見せる。さらに、ゴールキーパー松村は顔面にボールを受けながらもゴールを守り、気合いを見せる。しかし、23分過ぎ、愛知県5番高智がミドルシュートでこの流れを断ち切った。

後半、広島県に追い上げられるが、前半のリードで試合を優位に進めた愛知県が埼玉県との決勝に駒を進めた。